

千葉支部

支部紹介

千葉支部は会員数 約 1,500 人で、東京、神奈川に次ぐ大所帯です。3つの地区（千葉・船橋・東葛）に分かれており、支部役員を2年ごとに担当。2019年度～20年度は東葛地区が担当です。

支部規約として千葉支部には次の役員、地区委員および代議員を置きます。役員は支部長・副支部長・書記（2名）・会計（2名）・会計監査の7名、地区委員は千葉・銚子・房総地区に3名、船橋地区に2名、東葛地区に2名の計7名、代議員は4名としています。

オンラインで深まった千葉支部の絆、2020年10月11日「秋の文化活動」報告

2020年「秋の文化活動」は、千葉支部初、Zoomを使った90分間のオンライン交流会でした。当初計画していた映画監督・小泉堯史氏の公開トーク&ランチ懇親会がコロナ禍で開催できず、やむを得ずオンライン交流会としたのですが、開催してみたら大盛況でした。

画面いっぱいに参加者45人の笑顔が広がり、皆さまに自己紹介、近況、思い出をお話いただきました。先輩後輩、遠く離れた地域間の参加者の距離がぐっと近くなりました。

初めてのオンライン交流会で、何人参加していただけるか不安でしたが、45人も多くの方々に参加いただき、大成功でした。80歳以上の方の参加も平成卒の方の参加も増えました。また、距離が離れていて例年だと参加が難しい地域からも参加いただきました。

Zoomを使い慣れていない方も多かったため、念入りに準備しました。幸い役員にオンライン会議の達人がいましたので、事前に1時間くらいのオンライン交流会「練習会」も2回開催しました。練習会は本番前のミニ親睦会となり、本番に向けて一体感が高まりました。練習の甲斐あって、10月11日日本番では入室からスムーズに進行できました。交流会の最中にはチャットも活発に使われ、個人的な繋がりも深まりました。

懇親会前半は全体会で、おひとりずつの簡単な自己紹介のあと、101歳の本田文さま（昭15家）から戦争体験を踏まえた貴重なメッセージをいただきました。また、清本智美さま（平6生）からは、館山市にあるお茶の水女子大学「湾岸生物教育研究センター」を写真で紹介いただきました。後半は5つのグループの分散会としました。1グループ9人で、近況報告や趣味などの話で盛り上がりました。グループ分けはシステムでランダムに決まるようにしたため、幅広い年代で交流ができました。これからの活動に生かせる新しい発見がたくさんありました。

最後に、前年、2019年「秋の文化活動」は、「流山本町江戸回廊巡りと藤田浩子氏 昔語り・昔遊び」でした。会員同士が直接顔を合わせてランチやお話し会を楽しんだ素晴らしい1日でした。

これからは、リアルもネットもどちらも活用し、会員が気軽に交流できるようになり、先輩後輩のつながりが一層深くなっていくことを期待したいと思います。

